

## 中学生レベル学校図書館向けの書籍(帝国書院)が出版されました(2017/2/10)

テーマ：学校図書向け書籍

場所：帝国書院 HP

URL: <https://www.teikokushoin.co.jp/products/educational/index40.html>

今年3月11日、東日本大震災から6年を迎えました。各地で復興事業や新しい町づくりが進んでいる一方で、記憶や防災意識の風化が叫ばれています。その中で、学校での防災や減災教育の重要性が指摘され、様々な活動の実施や図書が出版されています。この度、災害科学国際研究所災害リスク研究部門の今村文彦教授とサッパシー・アナワット准教授、災害理学研究部門の日野亮太教授、情報管理・社会連携部門の佐藤翔輔助教が共同で執筆した図書(津波について)が2017年2月10日に帝国書院より出版されました。

最近の様々な自然災害の脅威に対して正しく備えるための基礎に加えて、取り組み事例や個人や地域で出来る対策について豊富に紹介する書籍シリーズ「わかる! 取り組む! 災害と防災」が企画されました。主旨は以下のとおりです;

○基礎…災害のしくみがわかる!

- 地震や津波、火山噴火、風水害、土砂災害などがなぜ日本で多く発生するのか?日本の自然環境の特徴と関連させて、自然災害が起こるしくみ・メカニズムを詳しく解説。模式図や写真などを豊富に用いてわかりやすく構成。

○事例…最新の災害事例も多数!

- 災害の背景や状況だけでなく、体験者の声やその後の対策に生かされた教訓・課題まで取り上げた充実の内容。
- より実感を持つために、災害を体験した方々の「声」を多数紹介。

○対策…防災・減災に一人ひとりが取り組む!

- 災害に対してどのような取り組みが行われているのか?私たち一人ひとりが取り組むべきこととは?防災・減災の取り組みについて各巻3~4テーマで詳しく解説。さらに、これからの防災に生かせるような先人の知恵や工夫も紹介。
- 特設ページ「アクティビティ」で災害を“自分ごと”としてとらえ、さらに深められる!

<https://www.teikokushoin.co.jp/products/educational/index38.html>

災害科学国際研究所で担当したのは、以下の津波編です。

「わかる! 取り組む! 災害と防災 2 津波」

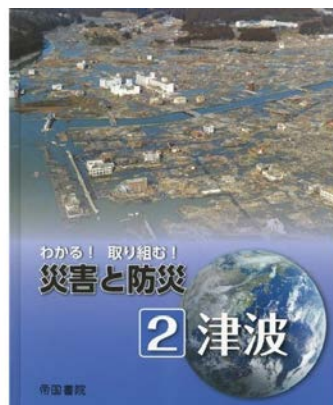
<https://www.teikokushoin.co.jp/products/educational/index40.html>

① 津波を知る

② 津波による被害

③ 防災・減災の取り組み

○掲載事例…東日本大震災、南海トラフ地震、世界の事例(インド洋津波、チリ地震の津波)



津波編の表紙

<https://www.teikokushoin.co.jp/products/educational/index40.html>

文責：今村文彦，サッパシー・アナワット（災害リスク研究部門），

日野亮太教授（災害理学研究部門），佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）